鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	4	1	3	224上・下水道の整備	水道の衛生対策に要する経費	環境課			①平成25年度より保健所から権限移譲された事務(専用水道、簡易専用水道、小規模専用水道、小規模簡易専用水道)であり、水道施設の設置手続きが定められている。 ②権限移譲事務の職員育成が急務となっている。	2,049	2,469	6精査・検証	①法令等により、市に義務付けられた業務であるため、今後も継続していく。 ②引き続き、事務(専用水道及び簡易専用水道)の習熟を図る。	2,777
2	一般	8	4	4	224上・下水道の整備	公共下水道事業特別会計繰出金	下水道課	○	○	①事業認可を取得している区域の管渠の整備。 ②特定財源である下水道使用料を確保し、繰入額の削減を図っていく。各家庭の負担軽減による水洗化人口の向上と維持管理、建設にかかるコストを抑制に努める。	354,915	492,205	6精査・検証	①下水道法各種法令に基づき、公共用水域の水質保全及び衛生的で快適な生活環境を確保に必要なものであるため、精査・検証を図っていく。 ②引き続き、コスト削減と特定財源の確保による繰出金の抑制に努めるが、今後の下水道整備計画について、汚水処理構想の見直しと併せて、検討する。	625,100
3	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	下水道事務に要する経費	下水道課			①公共下水道管渠の維持管理(清掃等)、公共下水道施設の修繕(人孔蓋等のガタツキ等)を行う。 ②計画的な維持管理事業を拡大しないと公共下水道施設の耐用年数が短くなり、将来、安定した下水道経営が難しくなる。	123,195	130,251	6精査・検証	①公共下水道施設の建設費と維持管理費のバランスを絶えず考慮し実施していく必要があるため。 ②引き続き建設部門と調整を図りながら、計画的なメンテナンスを行っていく。	187,878
4	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	公共汚水樹設置に要する経費	下水道課			①公共汚水樹の設置を行う。 ②公共下水道管渠の整備が下流からの面整備となるため、必要としている地域があったとしても早急の対応ができない。	8,965	12,713	6精査・検証	①公共汚水樹の設置時期を見直すことにより建設経費の削減を図るとともに、無断接続等の防止策を講じていく必要があるため。 ②引き続き、公共下水道管渠築造時に公共汚水樹を原則設置することとし、水洗化促進及び生活環境の向上を図る。	12,225
5	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	流域下水道維持管理に要する経費	下水道課			①県が管理する流域下水道に接続する流域関連団体が、流域下水道を維持管理していくための費用を負担するもの。 ②今後の下水道事業の進捗に伴い、有収水量の増加が見込まれ維持管理負担金も増えていくと考えられる。	269,390	300,521	6精査・検証	①維持管理負担金の汚水量単価抑制のため、不明水対策等の対策について精査していく必要がある。 ②汚水量単価改定により、5～7円/m3の上昇となっているが、不明水対策を継続し、有収水率の向上と負担金額の抑制に努める。	379,793
6	下水	2	1	1	224上・下水道の整備	下水道建設に要する経費	下水道課			①事業認可を取得している区域の管きよの設計、施工。 ②繰入金金の減少に対し、維持管理費等の増加が上回り、事業経費が縮小傾向にあるが、県内でも普及率の低い鎌ヶ谷市では、一層の建設コストの削減と整備の継続が課題である。	270,124	424,931	6精査・検証	①建設コストの削減の外、下水道整備計画の見直しが必要と考えられる。 ②引き続きコストの削減に努め、下水道の目的である都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資する。	506,484
7	下水	2	1	1	224上・下水道の整備	流域下水道整備に要する経費	下水道課			①前年度に県より示される、各流域毎の負担金を支払う。 ②東京湾および手賀沼並びに印旛沼の水質改善を目的に事業を進めてきているが、人口減による計画の見直しなども必要となる可能性があると考えられる。	59,595	56,579	6精査・検証	①千葉県事業であるが、今後も全体事業費の鎌ヶ谷市負担分の支払いについて継続する事となるが、市での精査は、必要である。 ②流域下水道市川幹線の早期完了。	89,824
8	下水	3	1	1	224上・下水道の整備	借入金元金償還金に要する経費	下水道課			①(公共下水道)鎌ヶ谷市が設置する幹線・管渠の建設財源(流域下水道)千葉県が設置する幹線管渠及び処理場の建設財源。 ②県内においても普及率が低い鎌ヶ谷市では、今後も事業に伴い地方債の借り入れが予想され、償還金も増加傾向にあると考えられます。	706,136	725,599	6精査・検証	①下水道事業は、事業期間や整備効果が長期に渡るため、負担の公平化の観点から地方債を充当する世代の均衡化を図る事が適当である。 ②地方債借入額の抑制。	728,861

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
9	下水	3	1	2	224上・下水道の整備	借入金利子償還金に要する経費	下水道課			①(公共下水道)鎌ヶ谷市が設置する幹線・管渠の建設財源(流域下水道)千葉県が設置する幹線管渠及び処理場の建設財源 ②県内においても普及率が低い鎌ヶ谷市では、今後も事業に伴い地方債の借入れが予想され、償還金も増加傾向にあると考えられる。	259,452	236,724	5改善	①下水道事業は、事業期間や整備効果が長期に渡るため、負担の公平化の観点から地方債を充当する世代の均衡化を図る事が適当である。 ②地方債借入額の抑制	219,649